

鶏足山～焼森山行報告

【山行日】2022年3月24日(木) 晴れ

【集合】鹿窪運動公園P AM 6:00

【費用】マイカー1台 : 1000円

【メンバー】CL:鈴木、SL:大西、
安西、大塚、島田、関、渡辺

【コースタイム】鹿窪運動公園P6:00＝上赤沢登山
口 P7:05/7:20～鶏足山 8:20/8:30～ミツマタ群
生地 9:30/10:00～焼森山 10:45/11:15～
弛み峠 11:30～上赤沢登山口 P11:55/12:10＝
道の駅「グランテラス筑西」12:55/13:15＝
鹿窪運動公園P13:40



今年も鶏足山のミツマタを見たいとの要望があり、茨城県側の上赤沢登山口から登る計画を立てた。栃木県の茂木町からは登山口駐車所の乗り入れが禁止され、旧逆川中学校からシャトルバス

でのアクセスになった。SLはバスが一番苦手であり、シャトルバスと入山料で1000円徴収される為、今回のコースに変更した。

鹿窪運動公園を6時に出発し国道50号線を東に進み、笠間市石井の交差点を左折して上赤沢へ向かう。上赤沢登山口にはトイレが付設された立派な駐車場が整備され、登山者にはとてもありがたい。駐車場に車を止め、トイレとストレッチを済ませて出発する。

茶畑の間の道を進むが、3日前に降った雪がお茶の木に白く積もっていた。すぐに二股



になり案内標識に従って、右に富士ヶ平山に向かって山道に入る。整備された登山道は歩き易く、まもなく浅間神社が祀られた富士ヶ平山山頂に着く。ここから一旦下り林道を横切って鶏足山南峰

への尾根に取付く。登山道にも残雪が現れるが、登りでは問題なく歩け楽しそうに登る。

尾根に付けられた登山道を忠実に登って行くと、鶏足山南峰に出る。二等三角点とベンチやテーブルが置かれ、休憩には良いが展望は得られない。小休止して果物や菓子をいただき、疲れた足を休めたら北峰に向かう。北峰へは北に向かって一旦下り、鞍部から登り返すと北峰の頂上に着く。展望が良く祠が置かれ、こちらが鶏足山山頂とされているようだ。花香月山や八瓶山等の展望を楽しみ、記念写真を撮ったら北の尾根を進みミツマタ群生地に向かう。



下ると直ぐに護摩焚石を見て、鶏石への分岐を右に分けアップダウンを繰り返しながら稜線を辿る。



しばらくすると小さな標識が立つ分岐があり、標識に従って左の尾根下って行く。尾根を下り切ると沢に降りて、沢を渡って登ると並柳登山口からの林道出る。林道を左に進むとシャトルバス乗場に着き、ベンチやトイレが設置されている。トイレを済ませ、ここから少し歩くとミツマタ群生地入口に着く。ミツマタ広場と呼ばれ、茂木町観光協会のテントが置かれてミツマタ保全協力金300円を徴収される。テント脇からミツマタ群生地に入ると、黄色いポンポンの

ような花が出迎えてくれ皆さんから歓声が上がる。ミツマタの黄色い花はまるで妖精が舞い降りたような、幻想的な雰囲気を出してくれる。杉木立から差し込む木漏れ日に映された花々は、まさに妖精が乱舞するように見え美しい。スギ林の中に付けられた観察道をのんびり歩き、妖精の森を心ゆくまで楽しんだ。ミツマタ広場でおやつタイムとし、大塚さん手作りチーズケーキをいただき焼森山へ向かう。林道を南に向かって進み、右側の尾根に取付いて急坂を九十九折れに登って行く。急登に喘ぎながら登ると尾根に出て、左に尾根上を進むと視界が開け焼森山山頂に着く。山頂には大きな



標識があり、展望抜群の頂である。松の木の下の岩場に陣取り、ここでランチタイムとする。お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンを美味しくいただいた。食べている間も次々に登山者が到着し、とても賑やかな山頂となった。ランチが済んだら場所を譲り、早々に下山開始する。下山は鶏足山へ向かう道を下り、10分程で弛み峠に出てここから右に下って行く。谷沿いの道を下って行くと町道中ノ沢線に出て、そのまま町道を下ると上赤沢の駐車場



に着く。靴を履き替えてからトイレを済ませ、往路を戻って帰路につく。途中、道の駅「グランテラス 筑西」に寄り、野菜やパンを買い物し予定より早く鹿窪運動公園へ帰着した。